（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	にじいろ城山台

公表日　2026　年　3　月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児童の人数や活動内容に応じて、活動スペースを調整している。個別活動と集団活動を分け、落ち着いて取り組める環境を整えている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児童の特性や活動内容に応じて、職員の配置や役割を調整しています。個別対応が必要な場面では、職員間で協力して支援している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全に移動できるよう、室内の配置や動線に配慮しています。現在の利用児童の状況に応じて環境を整え、必要時には設備面も見直し。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		教材や用具を整理し、活動に集中しやすい環境を整えています。児童が自分で選び、片付けられる配置を心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団活動が負担になる児童には、落ち着いて過ごせる場所を確保しています。本人の気持ちに合わせて、活動への参加方法を調整している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援で気づいた課題を職員間で共有しています。児童の様子に応じて支援方法を見直し、改善につなげている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価や日頃のご意見を、支援内容の見直しに生かしています。家庭での困りごとも確認し、必要な対応を検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員からの提案を取り入れ、活動内容や支援方法を検討しています。児童への対応をそろえられるよう、情報共有に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は実施していません。実施方法や必要性を検討し、客観的な視点を運営改善に取り入れていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修や学習の機会を通して、職員の専門性向上に努めています。学んだ内容を共有し、発達特性に応じた支援に生かしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		児童の発達段階や学校生活での課題を踏まえ、支援内容を検討している。生活面や対人関係の力を育てる活動も取り入れている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の観察と本人・保護者の意向を踏まえて、支援目標を設定しています。学校や家庭での様子も参考にしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で児童の状況や支援上の課題を共有しています。複数の視点から支援方法を検討するよう努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の目標を踏まえ、活動や声かけを調整しています。児童の変化に応じて支援方法を見直している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の活動や関わりの中で、得意なことや苦手なことを把握しています。観察内容を記録し、支援の検討に役立てている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		５領域を意識し、生活習慣やコミュニケーションなどを支援しています。児童ごとの発達状況に応じて取り組みを調整している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児童の興味や課題を踏まえて、職員間で活動内容を検討しています。無理なく挑戦できるよう、活動の手順や難易度を工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		制作、運動、自然体験、外出など多様な活動を取り入れています。児童の関心を広げ、さまざまな経験につなげている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別で取り組む時間と、友達と関わる集団活動を組み合わせています。児童の状態に応じて参加方法を調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に活動の流れや職員の役割を確認しています。送迎や個別対応についても、必要な情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		○		支援後の振り返りが翌日以降になる場合があります。当日中に要点を共有できる方法を整え、支援の改善につなげる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童の活動内容や様子、支援時の対応を記録しています。記録を振り返り、次回の支援方法の検討に生かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童の成長や課題の変化を確認し、支援目標を見直しています。保護者の意向も踏まえて、必要な支援を検討しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		日常生活の力や対人関係、社会参加につながる活動を取り入れています。実際の場面で経験を積めるよう工夫しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人の「やってみたい」という気持ちを大切にしています。必要な手順を段階的に示し、自分で取り組める力を育てています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の状況を把握している職員が、関係機関との情報共有に対応しています。支援方針にずれが生じないよう確認しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて学校や相談支援事業所などと連携しています。児童の生活全体を踏まえた支援につなげています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と下校時刻や送迎方法を確認し、安全な引き渡しに努めています。必要に応じて学校での様子も共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の支援状況など、必要な情報の把握に努めています。新しい環境でも安心して利用できるよう支援を調整しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現時点では、卒業後の障害福祉サービス等への移行実績がありません。必要となった際に円滑に引き継げるよう、連携方法を整理する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		現在、児童発達支援センターから定期的な助言や支援は受けていません。相談先や連携方法を確認し、必要時に専門的な助言を得られる体制を整える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の施設を利用した外出や体験活動を行っています。地域の人や場所に触れ、社会経験を広げる機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在、自立支援協議会への参加には至っていません。参加方法や開催情報を確認し、地域の支援機関との連携を進めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の支援記録や連絡を通して、保護者と児童の様子を共有しています。家庭での変化や困りごとも確認しています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在、保護者向けの体系的な研修や家族支援プログラムは実施していません。個別相談に加え、学びや情報交換の機会を検討。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に支援内容や利用方法、利用者負担について説明しています。不明な点には個別に対応し、理解につながるよう努めています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画の作成時などに、本人や保護者の希望を確認しています。学校生活や家庭での困りごとも踏まえて支援を検討しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の内容や目標を保護者に説明し、同意を得ています。支援のねらいを共有しながら取り組んでいます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家庭や学校生活での困りごとについて相談を受けています。状況を整理し、児童に合った関わり方を一緒に考えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在、保護者同士が交流する機会は十分に設けられていません。12月に予定している交流会を実施し、継続的な交流機会につなげます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談や要望に応じ、必要な対応を検討しています。内容に応じて職員間で共有し、丁寧な説明に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINE等を活用して、活動の様子や行事予定を伝えています。利用日や送迎に関する情報も個別に確認しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		児童や家庭の情報を、支援に必要な範囲で取り扱っています。記録や連絡時にも個人情報の保護に配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童の理解や特性に応じて、短い言葉や視覚的な手がかりを使っています。活動の見通しを伝え、安心して取り組めるよう支援しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域行事や施設を利用する活動は行っていますが、地域住民を招く行事の実施状況は確認が必要です。交流機会のあり方を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時や災害時などの対応に関するマニュアルを整備しています。職員間で対応方法を確認し、必要な見直しを行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害時の対応を想定し、避難訓練に取り組んでいます。訓練を通して課題を確認し、対応方法の改善につなげています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		既往歴や服薬状況など、支援上必要な健康情報を確認しています。児童の体調変化に注意し、必要に応じて保護者と連絡を取っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーなどの情報を事前に確認しています。活動や飲食の場面で注意点を共有し、安全に配慮しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を踏まえ、室内活動や外出、送迎時の安全を確認しています。児童の行動特性に応じて見守り方を調整しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全に関する取組や必要な注意事項を保護者に伝えています。訓練の実施状況についても、分かりやすい周知に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故につながりかねない場面を職員間で共有しています。原因や対応を振り返り、同様の事態を防ぐ方法を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止について職員間で確認し、適切な関わりを意識しています。児童の気持ちや尊厳を大切にした支援を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に頼らず、児童の気持ちや行動の背景を理解するよう努めています。安全を確保しながら、環境調整や声かけで対応しています。	